



「空きコマって何ですか？」の問いに大学と高校の違いを感じる二人

2025年3月に卒業し、県立芸術大学へ進学した元クリエイティブアーツコースの生徒。同じ進路を夢見る後輩のため、トークイベントを実施！



県立芸術大学の工芸、芸術学へ進学した元クリエイティブの生徒が、同じ進路を夢見る後輩のためにトークイベントを進路とクリエイティブで共催。先生や在校生、卒業生の会話が飛び交い、和気あいあいとした雰囲気です。1時間程実施しました。

大学で実際に使っている教科書や講義内容をメモされたレジュメ、授業や大学構内で実際に過ごす場所の写真など、大学が配布するパンフレットなどからは分からない、「リアルな大学生活」を高校生に紹介。その後、高校生が気になることを質問して回答、またはそこから派生した内容を大学生が語るといった形式で行われました。質問には、受験準備や入学後の履修登録の仕方以外にも

空きコマとは何か？など、実際の過ごし方について突っ込んだ内容まで幅広くありました。

イベント終了後、参加していた生徒に感想を聞くと、「迷っていたけど道が見えてきた（一年生）」、「努力に対してモチベーションの差を感じた。今得意なことをさらに伸ばしたい（二年生）」、「大学生活を楽しめる人以外が進学したら、辛いかもなんて考えたことなかった。芸術大学なのに英語頑張る必要があるなんて・・・（三年生）」などといった内容を伺いました。簡単に考えていたら痛い目を見るが、真剣に向き合えば夢は広がる。それが大学という存在なんだと感じさせてもらえる有意義な1時間になりました。

高校で学んで役に立ったこと？

「真和志は先生など環境が良くて授業で発言がしやすかった。大学でも臆せず教授と仲良くなれるのはそのおかげかもしれないです」そう答えてくれた卒業生。学びの継続が垣間見えた気がして、先生たちも嬉しいです。